学校番号	３０２４

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭基礎　パートナーシップでつくる未来（実教出版）						
副教材等	２０２１最新生活ハンドブック（第一学習社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業を通して生活を豊かにするために必要な知識や技術を身に付け、実生活に活かしましょう。
・家庭生活で必要な知識や技術の習得及び社会の課題と暮らしを結び付けて考える力を養うため、各分野では、実践的・体験的な学習を行います。積極的に取り組んでください。
・自分の生活を見つめ直し、また地域社会の一員としての課題をグループワークや演習等を通して考えていきます。多様な考えを知り、自分の価値観を築いていきましょう。
・持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になることをめざしましょう。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活に関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・人とのかかわり、衣食住などの生活、経済的な観点において、自立した生活に向けて、意欲的に取り組もうとしている。各章の内容について関心を持ち、その充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとする。	・自分や家族、家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のための思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。	・自分、家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。	・自分や家族、家庭、地域社会の役割を理解し、生活の向上にむけて必要な基礎的、基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート 定期考査の結果 発表、自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 作品、製作品、実習記録表、実習、レポート 定期考査 自己評価及び相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート 定期考査の結果 発表　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ・自分を見つめる ・自立した生き方、共に生きる人生 ＊「自立」とは意見発表 ＊グループ学習 ・家族に関する法律 ＊家族法クイズ ・私たちの生活を支える労働と生活時間	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:現在の自分のこと将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている b:自立の意味を理解しており、青年期の課題としてとらえ、現在の自分の課題を見出すことができる。 c:自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生について考えをまとめることができる。 d:青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。	授業観察 プリント ワークシート 発表 レポート 定期考査
5月・6月	高齢者とかかわる	・高齢社会に生きる私たちの暮らし ・高齢者を知る ＊高齢者疑似体験実習 ・豊かな高齢期を迎える	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	a:高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。 b:高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 c:高齢者と適切にかかわることができ、高齢者の自立生活を支える技術を身につけている。 d:高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。	授業観察 プリント ワークシート 実習 実習レポート 定期考査
7月	子どもとかかわる	・子どもを知る ・発達のすばらしさ ＊DVD「世界の子育て」視聴 ・子どもの生活 ＊手作りおもちゃ製作 ・親になることを考えよう ＊新生児抱き人形での実習 ・すこやかに育つ環境	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○	a:子どもや子育てに関心を持ち、子どもを取り巻く地域の人間として、あるいは将来の親として、子どもが健やかに成長するためにはどうしたらいいのかを、意欲的に考えようとする。 b:子育てに関する法律や制度について、問題や課題を見つけ、今後の方向性を判断することができる。 c:子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわるものづくりなどの技術を身につけている。 d:親となり子どもを育てるうえで必要な条件や、親の保育責任について理解している。	授業観察 プリント ワークシート 発表 製作物 レポート 定期考査

8月		・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊福祉マップをつくろう	○	○	○	○	a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:自分たちの暮らす地域の福祉について、調査などを行い、自分でできることは何かを導き出すことができる。 c:自分の住んでいる地域の福祉環境を調査、研究し、課題解決に向けて考えをまとめることができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身につけ、地域社会の重要性について理解できる。	レポート 発表 自己評価 相互評価
9月	衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ＊DV 視聴「日本と世界の衣装」 ・衣服の素材を見てみよう ・衣生活の管理 ・衣生活と資源、環境 ・すべての人が快適な衣生活を ・刺し子実習	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。 b:衣服材料、衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において適切な判断ができる。 c:被覆実習において裁縫や刺繍の基礎的な技術が習得できており、実生活に活かすことができる。 d:衣服材料と性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけ、衣服を適切に選択し管理することができる。	授業観察 制作物 実習 プリント ワークシート 定期考査
10月 11月	食生活をつくる	・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ＊調理実習3回程度 ・これからの食生活を考える	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:食生活や食品に関心を持ち、自らの食生活について、健康を維持するだけでなく、精神的な豊かさを向上させる意味もあわせもつことを理解し、そのための知識や技術の習得、改善のための考察や行動に意欲的に取りくもうとする。 b:今後のよりよい食生活を営むために、栄養、環境、食品の選択、経済性などの視点において、問題点・課題を解決する方向性をみいだすことができる。 c:調理実習において、調理のための基礎的な技術が習得できており、知識と融合させて、献立を考え、食品を選び、調理するなどの行動ができる。 d:保存、食中毒、添加物、農薬など、食品の選択に関わる基本的な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート 実習 実習レポート 定期考査

12月	住生活をつくる	・人と住まいのかかわり ＊DVD 視聴「世界の住居」 ・住まいを計画する ＊インテリアデザインを考える ・健康的な住まい環境 ・これからの住まいを考える	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:住まいの機能、住空間の計画や住環境に関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組んでいる。 b:安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 c:住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。 d:安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても理解できる。	授業観察 プリント ワークシート レポート 自己評価 定期考査
1月 2月 3月	消費行動を考える／経済的に自立する	・消費行動と意思決定 ・社会の変化と消費生活 ・消費者の権利と責任 ＊問題商法について考える ＊問題商法について グループ学習及び発表 ・持続可能な社会環境 ・経済のしくみを知る ＊1人暮らしのシュミレーション ＊給与明細の見方 ・ライフステージと経済計画	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済、国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期、長期的の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ解決の方向性を判断することができる。 c:消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 d:消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。	授業観察 プリント ワークシート 発表 自己評価 レポート 定期考査

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度ｂ　b:思考・判断・表現　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は実習・実験・グループワークなど実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。